英　語　創価女子短期大学　一般入試　学習アドバイス（傾向と対策）

作成／ゴートゥースクール・ドット・コム

出題傾向

大問数８題，設問数45問で，すべて４肢択一式の選択問題。内容は，「発音問題」「文法・語法問題（短文空所補充）」「文法・語法問題（正誤判定）」「会話文問題」「広告・メール文問題」「長文読解問題」が各１題，「長文空所補充問題」が２題という構成で，設問数，構成とも昨年同様である。「長文空所補充問題」は今年も２題出題されているが，これは長文と言ってもかなり短めのものである。問題の難易度は全体として「やや易～標準」レベルの範囲内にあり，ほぼ高校の教科書程度と言ってよいだろう。基礎力を重視した出題が特徴だが，「文法・語法問題（正誤判定）」と，最後の「長文読解問題」が最も差がつきやすいので，対策を怠らないようにしたい。

学習対策

◆発音問題

発音問題に出題されている単語は，高校の教科書に出てくる基本的なものばかりである。したがって，ふだんから単語を覚える際に，意味や用法だけではなく常に正しい発音とアクセントを一緒に覚えるようにしておけば，特別な対策は必要ない。ただし，escape, pace, poster, messengerなどのように，日本語でもカタカナ表記で使われることがある語については，英語と発音やアクセントが異なるものが多いため，特に意識して覚えることが重要である。

◆文法・語法問題

出題されるのは，文法・語法に関する基本問題が中心である。対策用には，なるべく解説が詳しく，問題数があまり多くない問題集を選ぼう。空所補充や正誤選択といった「出題形式別」になっている問題集よりも，不定詞，分詞，仮定法，前置詞…など「項目別」の問題集の方が本学の問題には向いている。問題数をこなすよりも，１題１題しっかり，そのポイントを理解しながら勉強していくことが重要だ。ただし，出題傾向でも述べたように，「正誤判定」形式の文法・語法問題は，やや得点がしづらい問題である。この形式の問題だけは，まとめて勉強して，出題のポイントが見抜けるようにしておくとよい。

◆会話文問題

会話文問題と言っても，本学の場合，会話特有の表現を知らないと対処できない，といった問題は出題されない。前後の文脈から適する表現を選んだり，内容一致の問題に的確に答えたりできるようにするという点では，基本的には長文問題の対策と同じと考えればよい。

◆長文空所補充問題，長文読解問題

長文空所補充問題では，文脈に合う語や熟語を選ぶ問題が多く出題されている。文法や構文力を問う空所補充問題の場合には，空所の前後だけ読めば正解が得られる場合もあるが，本学の問題では，英文の内容をしっかり読み取って適切な語を選ぶ必要がある。ただし，英文自体は100語～200語程度と短めであるため，スピードを意識した読み方よりも，内容を正確に把握できる勉強法を心がける方がよい。

長文読解問題では，内容一致問題が中心の出題となっている。内容一致問題では，設問に対する答えの箇所を本文中から探し出して答えを選ぶ必要があるため，先に設問の文を読んでその内容を頭に入れてから本文を読むようにするとよい。選択肢では，本文の表現が別の表現に言い換えられている場合が多いので，答えを選ぶ場合には注意が必要である。

また，長文空所補充問題でも長文読解問題でも，内容理解のためには語彙力が不可欠であるのは言うまでもない。市販の単語集を使うのもよいが，まずは，これまでに使った教科書を総チェックして，わからない単語や，あやふやな単語を，辞書を使いながらノートに整理し勉強しておくことも重要だ。